

ニュースレター 第13号

平成7年5月20日

# 日本精神保健看護学会

- The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing -

事務局：

〒150 渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

(理事長：稲岡文昭)

TEL：03-3409-0875

FAX：03-3409-0589

## 第5回 日本精神保健看護学会 総会・学術集会 “精神看護の専門性を問う”

○日時：1995年7月1日(土)・2日(日)

○場所：北里大学看護学部(〒228 相模原市北里2-1-1)

○プログラム：

### 【第1日：7月1日(土)】

13:30～13:40 オリエンテーション

13:40～15:10 講演：「精神看護の専門性を問う」

講師：柴田恭亮(西南女学院大学 保健福祉学部看護学科)

15:30～17:30 《ワークショップ》

[テーマ]

[担当責任者]

1) 体験グループ

武井 麻子(日本赤十字看護大学)

2) リエゾン精神看護・学習会

川名 典子(聖路加国際病院)

3) 地域リハビリテーション看護

田中美恵子(聖路加看護大学大学院)

4) 境界例へのアプローチ(仮)

粕田 孝行(長谷川病院)

5) 精神科における看護診断(仮)

岩瀬 信夫(聖隷クリストファー看護大学)

18:00～19:30 《懇親会》

### 【第2日：7月2日(日)】

9:30～12:00 一般演題発表：1題発表15分、討議15分

#### 第1群：事例・実践報告に関するもの

1. 心因性反応により強迫症状を呈した患者との看護関係に関する考察

高橋佐知子(千葉大学看護学部)

2. ダウン症児をもつ母親の心理過程

山田 晃子(福島赤十字病院)、他

3. 病棟を持たない総合病院精神科外来における看護の果たす役割について

三原喜代香(京都市立病院)

- 
- |                                    |                   |
|------------------------------------|-------------------|
| 4. 老年期慢性精神分裂病患者 QOLのための援助          | 高山七穂子 (長野県立駒ヶ根病院) |
| 5. 高度な在宅ケアを要する患者の退院決定に関する家族と看護者のずれ | 菅野 真紀 (北里大学東病院)、他 |
| 6. 閉鎖病棟における社会復帰グループの試み             | 長谷川雅美(前三重県立高茶屋病院) |

**第2群：臨床における調査・研究に関するもの**

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 看護実践における相互浸透を深めるための一考察                     | 高橋美紀、他 (千葉大学看護学部)       |
| 2. 精神科亜急性期病棟の患者一看護者関係にみられる看護者の関わりの特徴          | 足立 佳世 (大阪府立看護大学)        |
| 3. 救急外来における看護婦と患者家族の相互作用                      | 石田 美幸 (北里大学大学院)、他       |
| 4. アルコール依存者の継続ケア                              | 榊明彦、他 (東京アルコール医療総合センター) |
| 5. 精神分裂病患者的セルフケアへの自我機能 (現実検討) の影響と看護援助についての分析 | 深沢 裕子 (長谷川病院)           |

**第3群：看護教育に関するもの**

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. わが国の看護大学における精神看護学教育の現状    | 荻野雅、他 (日本赤十字看護大学)   |
| 2. 看護学生の個人的要因とコーピング及び健康度との関連 | 竹内登美子 (順天堂医療短大)     |
| 3. 課題達成にみられるグループと個人の傾向       | 西岡和代、他 (自治医科大学看護短大) |
| 4. 臨床看護実習における学生の疲弊と実習の楽しさ    | 宝田穂、他 (奈良文化女子短大)    |
| 5. 看護婦の満足度を高める新人教育の検討        | 佐藤愛紀子、他(東京女子医大病院)   |

**第4群：精神保健に関するもの**

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 精神障害者を抱える家族に関する調査                           | 大川貴子、他 (兵庫県立看護大学)         |
| 2. 若年層における老人抑うつスクリーニングスケール 日本語版の信頼性と妥当性の試行的研究2 | 岩瀬信夫、他 (聖隷クリストファー看護大学)    |
| 3. 自然災害における被災者の social support                 | 中島登美子 (山梨県立看護短大)          |
| 4. 青年期における飲酒行動に関する研究                           | 池田京子、他 (佐賀医科大学医学部看護学科)    |
| 5. 定期健康診断時間診における精神心理面からの問題把握について (第2報)         | 馬場芳子、他 (NTT関東健康管理所横浜センター) |

13:00 ~ 13:30 《 第5回日本精神保健看護学会・総会 》

---

13:40 ~ 16:00 《 シンポジウム 》

テーマ：「精神科看護の危機」—精神保健・福祉サービスの統合をめざして—

シンポジスト：作業療法士の立場から 寺山久美子（東京都立医療技術短期大学）

臨床心理士の立場から 佐藤 ゆみ（東京武蔵野病院）

ソーシャルワーカーの立場から 岡崎 直人（国立療養所 久里浜病院）

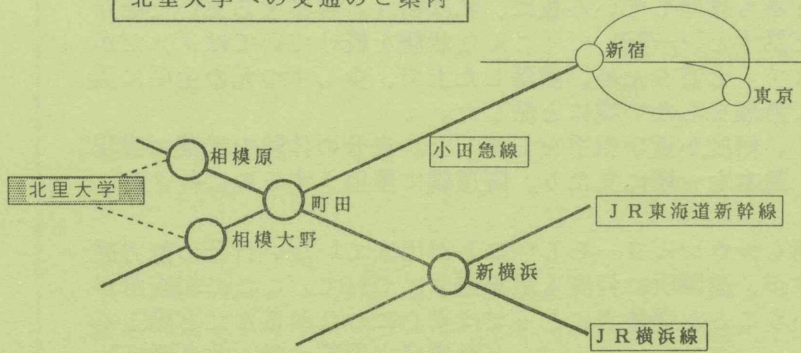
看護職の立場から 岡谷 恵子（日本看護協会）

司 会：中山洋子（聖路加看護大学）

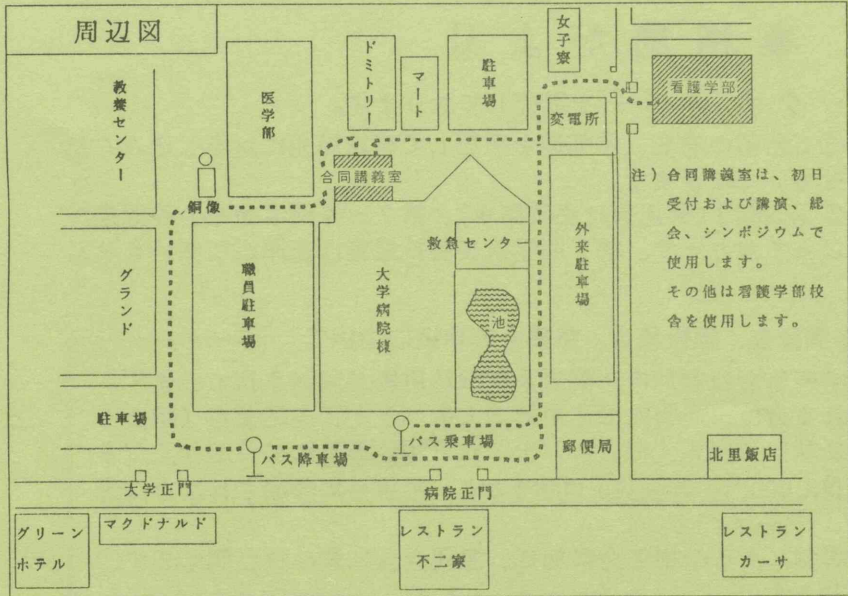
横山 碧（千葉大学看護学部）

※ 今回から総会は第2日となっております。お間違えのないようご注意ください。

北里大学への交通のご案内



- 1) 新宿より小田急線(急行約40分)相模大野駅北口下車、北里大学病院行きバス(約20分)にて終点、徒歩5分。
  - 2) 新横浜駅よりJR横浜線(約25分)相模原駅下車、北里大学病院経由相模大野駅行きバス(約25分)、北里大学病院前下車、徒歩5分。もしくは町田駅にて小田急線乗り換え(3分)相模大野駅下車。(1に同じ)
- \* 北里大学東病院バス停とお間違えのないようご注意ください。



「宿泊のご案内」

- 北里大学病院前
    - ビジネスホテルキタミ 0427(48)8221
    - グリーンホテル 0427(49)8181
  - 相模大野駅前
    - ホテルサンエイト 0427(48)2600
  - 町田駅周辺
    - ホテル ザ エルシー 0427(24)3111
    - ホテル 町田ヴィラ 0427(24)0840
  - 古淵駅前
    - 相模原第一ホテルアネックス 0427(57)6551
- その他、JR相模原駅周辺にも数軒あります。

「お食事のご案内」

徒歩10分以内の範囲にレストランカーサ、レストラン不二家、グリーンホテル1F花林、北里飯店などがございます。また、会場でのお弁当の販売も予定しております。

## 精神保健活動のご紹介 — 第3回 —

### 震災被災者への心のケア

1月17日未明に阪神地区を直撃した大震災によって、3カ月たった現在も避難所で暮らす人が何万人もいると聞きます。

私は、大阪の避難所で2月、3月の休日にカウンセリングのボランティアに行きました。これは、私の所属する関西カウンセリングセンターの有志が毎日交代で避難所に詰めて、被災者への相談や心のケアにあたるというものです。幸いにも、最低限のプライバシーは保持できる仮設の相談室も提供してもらえました。家族や住居を一瞬に失い、我々の想像を遙かに超えた体験をされた被災者の方を前にして、少しでも傾聴することが出来ればという思いで臨みました。避難所でのカウンセリングでは、避難者の方に声をかけて、その反応から接触を継続すべきかどうかを考えました。また、ただ会釈だけして彼らから話し掛けてくるのを待つといったこともしました。

ある中年男性は、避難所暮らしの不満や自然災害に対するもっていき場のない怒りをぶつけてきました。私は、ただ圧倒され、共感も出来ずに彼と対面していました。住居を失い、仕事も休職している彼に、私は掛ける言葉すら見いだせない状態でした。30分ほど話すと、一転して「こんな状態を続けてはダメだから、仕事に出て頑張ります」と言うため、傾聴した上で、少しずつ元の生活に戻ることが大切で、決して無理をしない様にと話した。

避難所には幼児も多く、何度か遊び相手をしました。自分の体験を言葉に表現できない幼児を相手に、絵本を一緒に見たり、画用紙に落書きするのに付き合ったりしました。

最初は圧倒されて、何もカウンセラーらしいことが出来ていない自分に無力感や苛立ちを覚えたのですが、避難所に何度も足を運ぶにつれて、ここに相談所があり話し相手がいるということが避難者にとっては安心につながるんだと思えるようになってきました。

(兵庫県立看護大学 北島謙吾)

## 事務局だより

学会誌および抄録集のバックナンバーを販売しております。

①送本先の住所、②氏名、③ご希望の巻数、④部数を明記して事務局宛にお申し込みください。代金は後から請求させていただきます。

定価は学会誌第1～3巻が各1,500円(郵送費は実費請求)、第2～4回学術集会抄録集が各600円(郵送費込み)となっております。第1回学術集会抄録集は在庫がございませんので、ご了承ください。

### 平成7年度総会、学術集会、懇親会の申込について

平成7年度総会、第5回学術集会の参加申込葉書及び振込用紙が同封されています。総会・学術集会に参加される方は、同封の振込用紙で入金のおうえ、申込葉書(総会を欠席される方は、必ず委任状にご記入ください)を、6月10日必着にてお送りください。学術集会参加費は会員3,000円、非会員5,000円です。懇親会に参加される方は懇親会費3,000円を同時に払い込みください。

なお、払い込み用紙の裏側にある学術集会参加費、懇親会参加費の該当欄に必ず○をつけるようお願いいたします。